

2026年1月オープン予定！

SNS 映像の新たな視聴文化を創造する

オンラインミュージアム

— 感動が文化になる。推薦が未来をつなぐ。 —

VIDEO WONDER MUSEUM  
Wonders of Japan on Screen

伝えたいのは、この国の美しさと心、その記憶  
——ワンダーそのもの

What we wish to convey is the beauty of this land. Its memory.  
And the wonder itself.

SOUND  
ON

VIDEO WONDER MUSEUM

# 1. はじめに

## 人の感性が紡ぐ、新しい文化のかたち。



誰もが心を動かされた映像を推薦し、その理由を添えて展示する。それは、AIでは生み出せない、人の感性が紡ぐ文化のアーカイブです。

AIが世界を解析し、情報がアルゴリズムに流れる時代に、ビデオワンダーミュージアムは“人の心が選ぶ文化”を記録していきます。

感動が人から人へ、そして社会へ。

その連鎖こそが、このミュージアムが生み出す新しい文化です。

## 2. How It Works – 仕組みと流れ

### あなたの“推薦”が、映像文化の未来をつくる

#### ① SNS で出会う感動的な映像

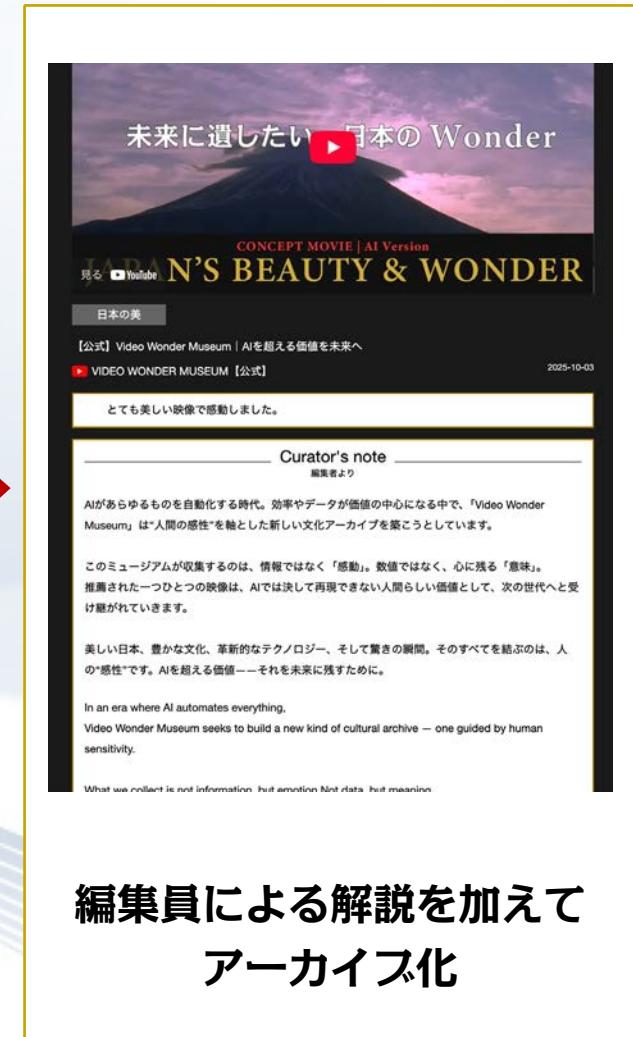


YouTube 上で心動かされた  
映像を発見  
URL をコピー

#### ② 推薦投稿（推薦理由+URL）

フォームに入力  
自分の感性で推薦

#### ③ 編集委員が解説・公開



### 3. My Gallery — 先行体験の紹介

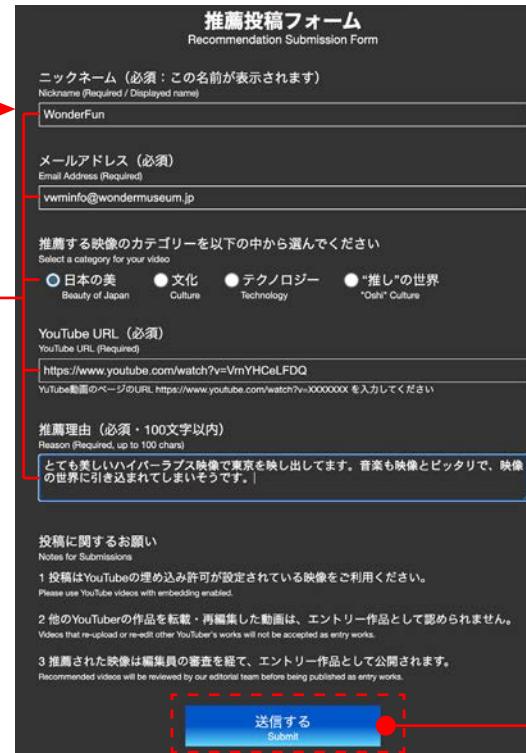
## 「マイギャラリー」作成の流れ



wondermuseum.jp

「推薦フォームへ」の  
ボタンを押す

必要事項を記入し  
推薦理由を書く



「送信する」ボタンで  
「マイギャラリー」完成

1~2日後にトップページの「今週のおすすめ映像」欄に推薦映像を追加し、編集委員が説明文（日／英）を加えた個別紹介ページが公開される



「シェア」ボタンで  
「マイギャラリー」  
をシェア可能に

## 4. 二つのエンジン — Z世代と成熟世代の共創

### スピードと深度、二つの力が文化を動かす。



ビデオワンダーミュージアムを動かすのは、  
Z世代と成熟世代、二つの感性です。

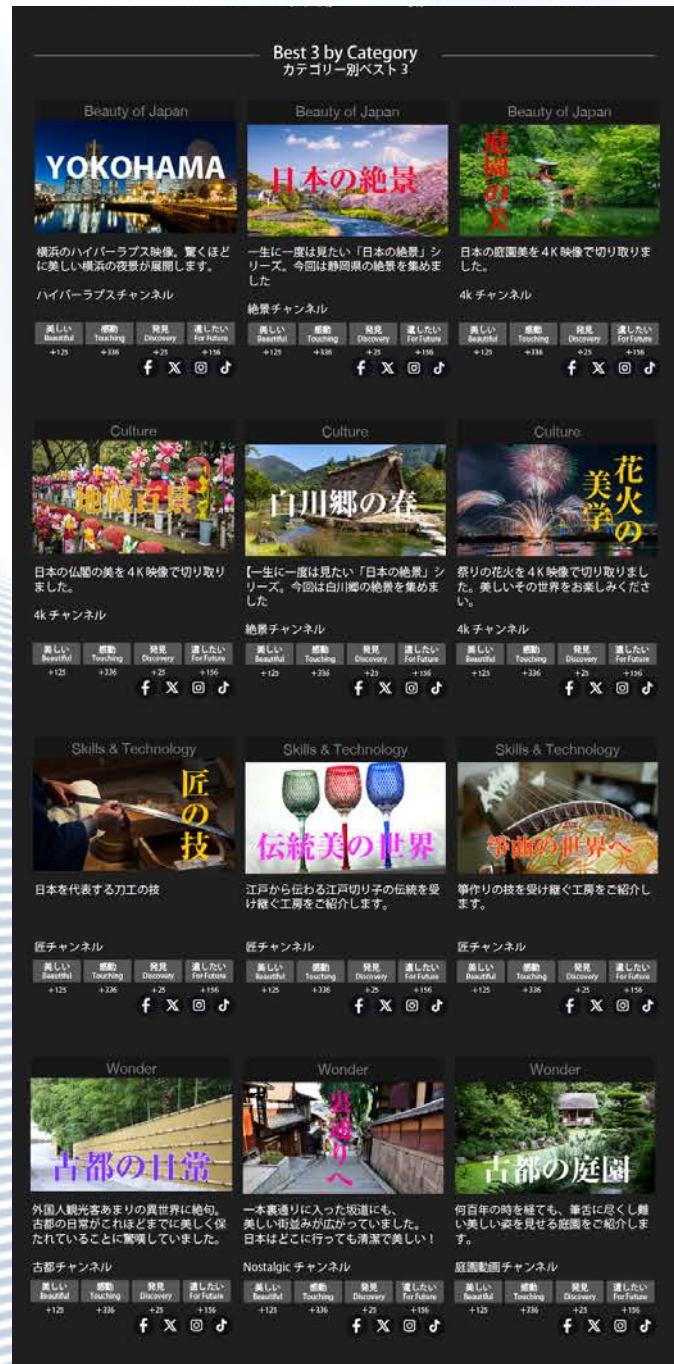
Z世代は「推し」や感動を瞬時に共有し、  
共感を広げるスピードのエンジン。  
“好き”を推薦に変えるその行為が、  
新しい文化を生み出します。

成熟世代は、深い感性と経験をもつ深度のエンジン。  
「私が感動したものを、次の世代へ。」  
その推薦が、文化を未来へつなぎます。

速さと深さ——。  
二つの力が響き合うとき、  
共感は循環し、文化は育っていく。

スピードが広げ、深度が支える。  
世代の共創が、文化を未来へ導いていく。

# 5. 映像を通じた観光の入口



有名も無名も越えて、“深い日本”へ。

いま、日本の観光は世界から熱い視線を集めています。しかし、どれほど知られた観光地にも、まだ語られていない物語や、見落とされている文化があります。

ビデオワンダーミュージアムは、そうした“深い日本”を映像を通して伝える舞台です。地方の小さな町にも、そして有名な観光地の片隅にも、心を動かす風景や人々の営みが息づいています。

訪日前の旅行者にとっては、日本文化を知るための“入口”となり、訪日後には、旅の意味をもう一度見つめ直す“導き”となります。

このミュージアムが、心に残る旅を導きます。。

## 6. 企業・自治体・教育機関が参加する“共創ミュージアム”

文化を共有し、社会で育てる新しいかたち。



ビデオワンダーミュージアムは、個人だけでなく、企業・自治体・教育機関が参加できる“共創のプラットフォーム”です。

企業は、自社の理念や活動を「文化的ストーリー」として発信し、社会との共感関係を築く。

自治体は、地域の自然や伝統、暮らしを映像で記録し、国内外へと広げていく。

教育機関は、学生たちの学びや創作を通して、“次の文化”を創造する。

このミュージアムは、  
それぞれの取り組みが孤立するのではなく、  
一つの文化圏として響き合う“共創の場”です。  
社会のあらゆる層が参加し、推薦し、共感を交わすことで、文化は静かに、そして確かに成長していきます。

## 7. ターゲット別メリット

### 個人にも企業や団体にも、外国人にもメリットが多い仕組み



#### 個人ユーザー（ネオシニア層・知的好奇心層）

- 刹那的な SNS 消費ではなく、知的で文化的な映像体験  
→新たな SNS 映像の視聴スタイルに共感
- コミュニティに参加することで  
→社会参加と社会貢献を同時に実現  
→新たな仲間を見つけ交流できる  
→人脈や経験を活かしてミュージアムの成長に貢献できる  
→ミュージアムの役割に応じた名刺を作ることができる



#### 外国人（訪日観光客・日本文化ファン）

- 日本文化や風景を「価値ある映像」として深く体験  
→新鮮な驚きと発見、価値あるエンタテイメント
- 観光前の情報収集や滞在中の学びを豊かにする  
→通常の観光ガイド情報を超える深い情報
- 世界の仲間と交流しながら日本文化を堪能できる  
→同じ趣味や思考を持つ人々との交流が可能



#### 企業・団体（一般企業・観光協会・自治体など）

- CSR・社会貢献活動の一環  
→自社サイトで CSR 活動としてアピールできる
- ミュージアムロゴを自社のサイトに掲示する SEO 効果  
→相互リンク
- 新しいスタイルの販売戦略／プランディング戦略  
→自社制作のビデオ作品を掲載する販売促進効果  
→ブランドイメージ向上による新たな採用戦略

VIDEO  
WONDER  
MUSEUM

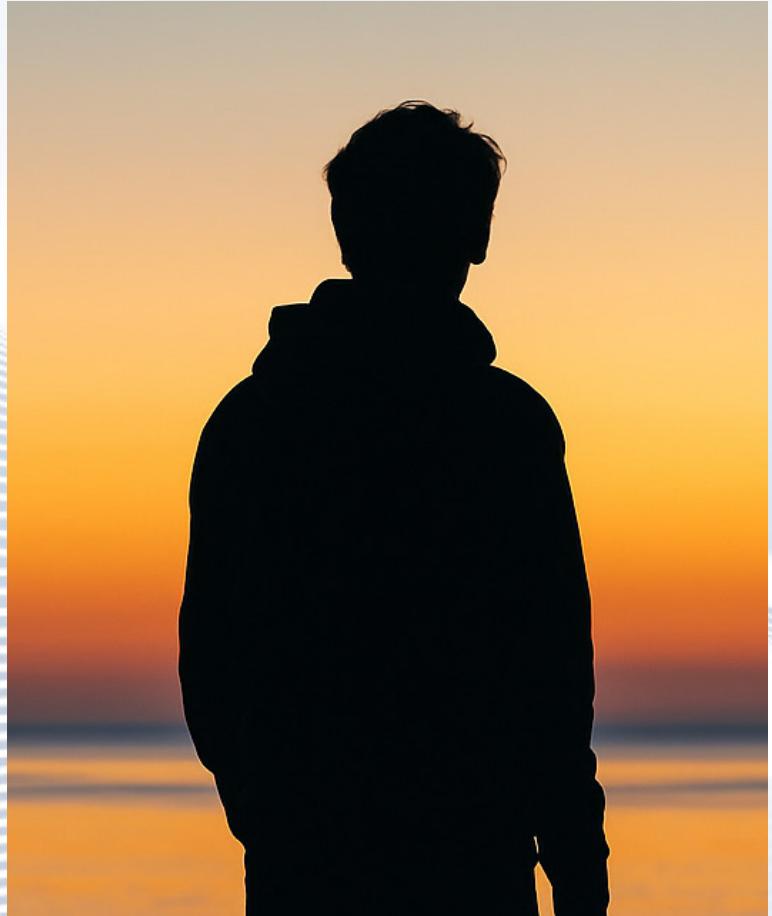


#### クリエイター／ユーチューバー

- 作品が「再生数」ではなく「文化的価値」で評価される  
→新鮮な驚きと発見、価値あるエンタテイメント
- ミュージアムでの視聴が自チャンネルの再生数に反映  
→自チャンネルへのメリットが多いミュージアム
- コミュニティを通じてファンや共感者と新たな接点を獲得  
→これまでにないプロモーションの機会を作れる

## 8. 未来ビジョン – 推薦が文化をつなぎ、旅を導く社会へ

感動が人をつなぎ、文化が未来を照らす。



AIが情報を解析し、  
あらゆるものが数値で評価される時代。

その中で、人の心が生み出す“推薦”は、  
数字では測れない文化の鼓動を伝えていきます。

ビデオワンダーミュージアムが目指すのは、  
感動をきっかけに、人と人、地域と地域、  
そして世代と世代をつなぐ社会です。

そこでは、推薦が文化を結び、  
文化が旅を導き、旅がまた新しい文化を育てていく。

一人の感動が、誰かの旅を変え、  
一つの推薦が、世界の見方を変える。  
その小さな連鎖が、やがて大きな文化の波となります。

# 9. リターンについて

## ＜個人支援者＞

|         |   |
|---------|---|
| ■1000円  | 名前が未来に残る文化資産の一部に<br>支援者ページにお名前掲載（希望者のみ）                                   |
| ■3000円  | あなたの推薦がミュージアムを育てます<br>プレミアム会員登録費不要+「マイページ（ボード）」提供+お名前掲載                   |
| ■5000円  | 編集委員として認定<br>プレミアム会員登録費不要+お名前掲載+ミュージアム編集委員の名刺 PDF をご提供                    |
| ■10000円 | ミュージアムを総合的にサポートするアンバサダーに認定<br>プレミアム会員登録費不要+お名前掲載+ミュージアムアンバサダーの名刺 PDF をご提供 |

※名刺はミュージアムロゴ入り／掲載内容はメールにて確認 ※お名前掲載期間は2年間

※プレミアム会員の有効期限：プレミアム会員登録日より1年間

## ＜企業・団体支援者＞

|          |   |
|----------|---|
| ■10000円  | ミュージアム支援枠（エントリー）<br>CSR活動として文化発信。企業名掲載+サイト掲載用「支援バナー」画像データ提供                     |
| ■30000円  | ミュージアム支援枠（紹介記事付き）<br>上記に加えて、地域や企業のストーリーを文化の文脈で紹介。特設ページに紹介記事を掲載。中小企業や観光関連団体におすすめ |
| ■100000円 | スポンサー枠<br>文化を未来に残すスポンサーとして世界に発信。トップページにロゴ掲載／広告バナー設置+特集枠掲載                       |

※お名前掲載期間は2年間 ※トップページに掲載するロゴ、広告バナー掲載期間は1年間

# 10. 今後の展望

「VIDEO WONDER MUSEUM」  
は単なるオンラインサービスにとどまりません。

映像文化の新しい基盤として  
視聴者やコミュニティの参加者の皆さまとミュージアムとで  
ともに育てていくプロジェクトです。

新しいコンセプトの SNS プラットフォームとして  
SNS 映像の愉しみ方をアップデートし  
未来に価値ある映像文化を遺すことを目指します。

※本プロジェクトを利用して、プロジェクトオーナーと第三者（支援者を含む）との間の雇用関係を成立させることはございません。また、プロジェクトオーナー以外の第三者（支援者を含む）が当事者となる雇用関係の成立をあっせんすることもございません。このことは、本プロジェクトのリターンについても同様です。